

伊勢湾貧酸素情報（第 3 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、三重県の沿岸域に沿って広い範囲に 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

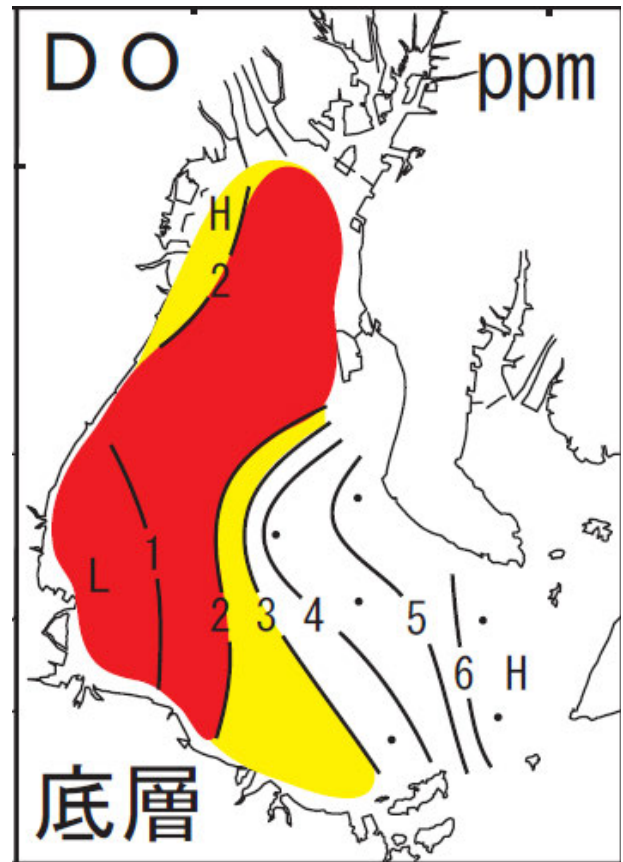
8 月 5 日の調査結果

8 月 5 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 23.3～30.9℃、10m で 20.9～23.3℃、底層で 19.1～22.5℃の範囲にあり、表層は平年より高め、10m でやや低めから低め、底層ではやや低めとなっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 6.7～10.9ppm、10m で 1.3～6.7ppm、底層で 0.4～6.4ppm の範囲にあり、表層と底層は平年並、10m ではやや低めとなっていました。

底層では三重県の沿岸域に沿って広い範囲に 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されています。

表層と底層の水温差などにより海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図